

ショウタと一緒にサッカーやろうよ



優しい心がオニの心に勝つか負けるか

僕の名前はショウタ。ゲームするのが大好き。みんなと一緒に遊んだり何かするなんて、疲れるし面倒くさい。ひとりのほうが気楽。

でもね、お父さんもお母さんも、先生も友だちも僕を放っておいてくれない。「どうしてみんなと遊ばないの?」「どうしてなんだ!」「どうして?」「どうして?」……って、うるさくてしょうがない。僕は、放っておいてほしいだけなんだ…… そうだっ! みんな消してやろう、人間のいない世界を創ってやろうっ!…… ゲームを始動した。

……えっ!えっ!なに?なに?…… 僕……

ゲームの世界に入っちゃったの?…… えっ! ここ、どこ?

僕の目の前にいるのは…… オニ!? オニ! オニ?……

人間は一人もいない。僕、鬼の世界にワープしてきちゃった!!

鬼社会の決まりごとは滅茶苦茶で驚くことばかり。嘘つきはよいこと。約束なんて破ってしまえ! 親切、思いやりはいけないこと。いじめは当たり前。友だちなんてつぐらな。誰とも仲良くしない……その上学校の授業はデタラメだ。

決まりを破った僕は、恐ろしいオニたちに捕らえられてしまった。

絶体絶命!!これはゲームじゃないんだ。どうしよう……

考えなきゃ、自分で……。



登場人物

ショウタ ユキ

婆 父オニ 母オニ

年寄りオニ 学者オニ

若オニ1 若オニ2 若オニ3

姫 使いのオニ

〈上演時間 70分〉

スタッフ

原 作

旗 ひさし

脚色・演出

木崎 裕次

舞台美術

佐脇 真治

照明

福井 孝子

衣装

大池かおり

音響

藤田 赤目

振付

平山 静乃

宣伝美術

立松 泰博

写真

清水ジロー



不思議な世界を旅したら……

遊んでいたら知らない不思議な世界に入り込んでしまう。もしかしたら、そんなこと本当にあるかもって考えたことありませんか? アリスの不思議の国に鏡の国、『ナルニア国物語』のナルニア、『はてしない物語(ネバーエンディングストーリー)』のファンタジーエン……子どもたちは知らない世界へ飛び込み、冒険の旅をし、成長して帰ってきました。私は、主人公と一緒にハラハラ・ドキドキの旅をし、アスランやフッフールに会いたかったです。今、未来に向かう子どもたちに、そんな冒険の旅をして欲しい、想像の世界を広げて欲しいのです。

「人間のいない世界を創ってやろう!」もちろんゲームの世界でなんです……。そんなことを考えたショウタはオニの世界へ飛び込んで大変な思いをします。でも、そのおかげで本当に大切なものが何かを知ります。不思議な世界を旅したら、子どもたちの心にも大切な何かが残ることでしょう。

今、子どもたちへ伝えたいこと

本来子どもたちは純粋で、豊かな心の持ち主です。優しさも思いやりもいっぱい持っています。それを行動で示すことは素敵なことですが、子どもたちはなかなか素直になれず、時にはかっこ悪いなんて言ったりします。相手を思いやる優しい心は誰にもあるはずで、格好悪いはずがありません。小さな優しい行いが周りの人の心を変えることができるかもしれません。そうになったら、なんて格好いいのでしょうか。

演劇の持つ力を信じ、子どもたちを信じて、この作品を創りました。



YouTubeでPR版(2分)
「ショウタと一緒にサッカーやろうよ」をご覧ください。

https://youtu.be/cNu_bDYENXE

— 制作より —

〈撮影協力〉ドゥーイット